

# 多様化する現代を 生き抜くために

株式会社タップ  
代表取締役社長 清水 吉輝



あけましておめでとうございます。

昨年は訪日外国人が過去最高となり、また近年の景気好転による国内需要の増加も追い風となって、2020年の東京オリンピック開催に向けて明るい兆しが見え初めていると感じております。

観光産業の中でもとりわけホテル・旅館業界におかれましては、徐々にではありますが全体的に回復基調にあるかと思えます。しかしながら一部には依然として厳しい状況が続いている地域、施設が見受けられるのも実情です。これから本当の意味で観光産業に対して真価が問われる時代になっていくことでしょう。

特に観光産業は今後国の重要産業の一翼を担っていくことは明白です。

これから国内外において日本の観光関係に対する注目度はますます高まっていくことでしょう。

このような状況下において、各ホテルや旅館などの施設も生き抜くための力を付けていく必要があると思えます。

近年、ますますお客さまのニーズは多様化してきております。必ずしも全ての要求に応えることは現実的ではありませんが、自施設にとって必要不可欠な対応とは何か？ 必ず応えなければならないニーズとは何か？ 今後、この判断が特に重要になっていくと考えられます。

そのためには適切な情報収集、的確な情報分析が求められます。また、トレンドは年々変わります。常に、その時代に合った最善の施策をしていくための情報が必要となってまいります。

私ども株式会社タップはホテル情報システムに特化している会社として、ホテル・旅館業界の発展のお役に立ち、皆さまのイノベーションをご支援させていただくことを望み、日々活動しております。ホテル・旅館業界特有の情報分析、そして時代の変化に柔軟に対応可能なシステムの提供を心掛けております。

「ホテル・旅館にとって大事な情報資産を有効活用していただく」ことをモットーとし、これからも微力ながらホテル旅館業界のお役に立っていけるよう日々励んでまいり所存でございます。

何卒、本年も宜しくお願い申し上げます。